

特集 6 高齢者に潜む亜鉛欠乏症



あさおか だいすけ

浅岡 大介

順天堂大学医学部附属
順天堂東京江東高齢者医療センター
消化器内科 科長／教授

要旨

高齢者では、加齢に伴う食欲低下、嚥下機能低下、ポリファーマシー、慢性疾患の併存などにより、亜鉛欠乏症が進行することが多い。亜鉛欠乏症は味覚異常や皮膚炎、創傷治癒の遅延のみならず、免疫機能の低下、抑うつなど多彩な症状を呈するが、それらは「年のせい」として見過ごされがちである。

高齢者における亜鉛代謝の特徴として、血清亜鉛値は加齢とともに減少する傾向を示し、高齢者では腸管における亜鉛の吸収能の低下が示唆されている。多職種で構成されるチーム医療による栄養管理・治療介入が、亜鉛欠乏症のみならず、フレイル・サルコペニア予防にも寄与する。高齢者の健康長寿のために、医療従事者が「高齢者に潜む亜鉛欠乏症」に目を向けることが重要である。

キーワード

亜鉛欠乏症, 高齢者, 味覚異常, フレイル

語句解説

対 特集
談 1

特集
2

特集
3

特集
4

特集
5

特集
6

最新
トピックス

徒然なる
ままに。